

2023年7月20日 全8頁

Indicators Update

2023年6月貿易統計

貿易収支は23カ月ぶりの黒字転換も季節調整値では赤字が継続

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2023年6月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+1.5%と28カ月連続で増加した。自動車やその関連財がけん引役となり、輸出金額は緩やかな増加基調を辿っている。他方、輸入金額は同▲12.9%と3カ月連続で減少した。これを受け、貿易収支は+430億円と23カ月ぶりに黒字に転換した。もともと、季節調整値では▲5,532億円と依然として赤字が続いている。
- 4-6月期の実質GDP成長率における外需寄与度はプラスに転じると見込む。同期の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前期比+2.3%と、EU向け（同+8.6%）や中国向け（同+3.7%）の持ち直しを主因に堅調となった。他方で輸入数量は同+0.3%と、相対的に小幅な増加にとどまった。
- 6月の輸出数量は前月比+3.2%と2カ月ぶりに増加した。均して見れば、輸出数量は緩やかな回復基調を辿っている。地域別に見ると、米国向け（同+1.5%）、EU向け（同+2.5%）、アジア向け（同+1.1%）のいずれも増加した。
- 先行きの輸出数量は緩やかな増加基調を辿るとみている。輸出数量指数に2カ月ほど先行するOECD景気先行指数は底打ち感が強まっており、供給サイドにおいても明るい材料が見られる。供給制約が緩和する中、ペントアップ（繰越）需要が蓄積する自動車やその関連財が輸出をけん引しよう。ただし、米欧では政策金利が高水準にあり、資本財などの輸出は軟調さが続く見込みだ。

【貿易金額】輸出の堅調さを背景に4-6月期実質GDP成長率の外需寄与度はプラスへ

2023年6月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+1.5%と、コンセンサス（同+2.6%、Bloomberg調査）を下回ったものの28カ月連続で増加した（図表1）。季節調整値では前月比+3.3%と2カ月ぶりに増加した（図表2左）。自動車やその関連財がけん引役となり、輸出金額は振れを伴いながらも緩やかな増加基調を辿っている。

輸入金額は前年比▲12.9%と3カ月連続で減少した。品目別では、原油及び粗油や石炭、液化天然ガスなどの輸入金額がいずれも同35%前後減少した。税関長公示レートは同6.8%の円安だったが、資源価格の下落の影響がより強く表れた。輸入金額全体の季節調整値は前月比+0.5%と8カ月ぶりに増加した（図表2右）。

貿易収支は+430億円と23カ月ぶりに黒字に転換した。もともと、6月は営業日の多さもあって輸出金額が上振れしやすい。この影響を均した季節調整値は▲5,532億円と、依然として赤字が続いている点には注意が必要だ（図表3）。また、4-6月期の貿易収支（季節調整値）は▲2兆3,164億円と、赤字幅が前期から1兆8,997億円縮小した。供給制約の緩和を主因に輸出金額が同5,444億円増加した一方、資源価格の下落が円安の影響を上回り、輸入金額は同1兆3,553億円下振れした。

以上を受け、4-6月期の実質GDP成長率における外需寄与度はプラスに転じると見込む。同期の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前期比+2.3%と、EU向け（同+8.6%）や中国向け（同+3.7%）の持ち直しを主因に堅調となった。またサービス輸出では、4-6月期の訪日外国人旅行消費額が2019年同期比95.1%（1次速報、観光庁）となり、1-3月期（同87.7%）から回復が進んだ。他方で輸入数量は同+0.3%と、相対的に小幅な増加にとどまった。

図表1：貿易統計の概況

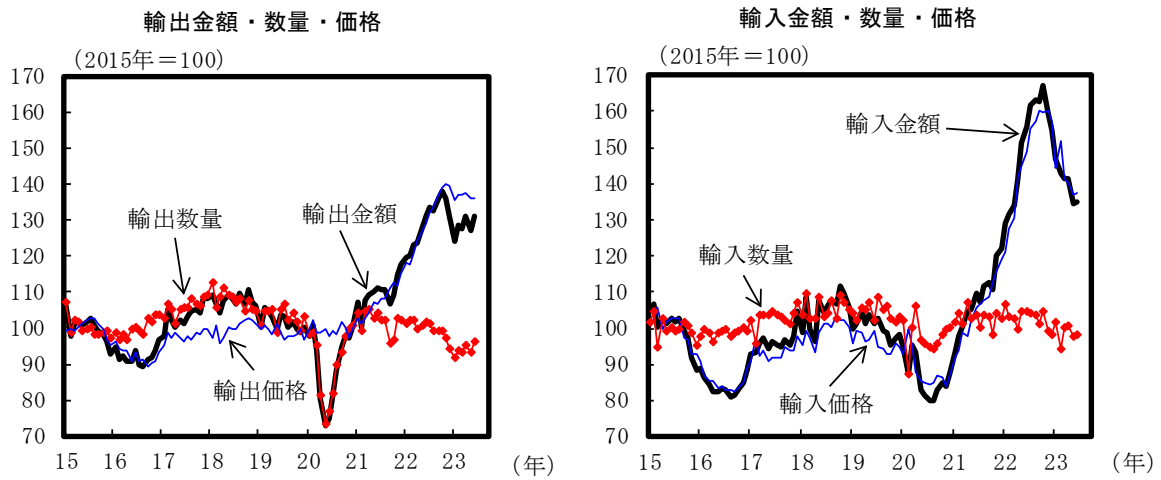
		2022年		2023年						
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
原系列 前年比 %	輸出金額	25.3	20.0	11.5	3.5	6.5	4.3	2.6	0.6	1.5
	コンセンサス									2.6
	DIRエコノミスト予想									2.2
	輸入金額	53.6	30.3	20.8	17.6	8.5	7.4	▲2.3	▲9.8	▲12.9
	輸出数量	▲0.3	▲3.6	▲7.0	▲10.9	▲7.8	▲8.1	▲6.0	▲6.4	▲4.8
	価格	25.7	24.4	19.9	16.1	15.5	13.6	9.2	7.4	6.7
	輸入数量	5.7	▲4.7	▲6.4	▲2.3	▲7.9	▲2.6	▲0.4	▲5.1	▲6.1
価格	45.4	36.7	29.0	20.4	17.8	10.2	▲2.0	▲4.9	▲7.3	
	貿易収支(億円)	▲21,715	▲20,319	▲14,586	▲35,064	▲9,199	▲7,588	▲4,364	▲13,819	430
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	1.5	▲1.2	▲3.7	▲5.5	3.7	▲0.7	2.5	▲3.0	3.3
	数量	0.1	▲1.8	▲3.5	▲2.7	2.6	▲0.7	2.3	▲2.0	3.2
	価格	1.4	0.6	▲0.2	▲2.9	1.0	▲0.0	0.3	▲1.1	0.1
	輸入金額	2.8	▲5.0	▲2.6	▲5.2	▲2.6	▲1.1	▲0.0	▲5.1	0.5
	数量	3.2	▲5.2	▲0.8	3.2	▲7.4	6.3	0.6	▲2.7	0.3
	価格	▲0.3	0.2	▲1.8	▲8.2	5.2	▲6.9	▲0.6	▲2.5	0.2
		貿易収支(億円)	▲22,374	▲18,036	▲18,464	▲17,769	▲12,394	▲11,998	▲9,921	▲7,710
	税関長公示レート	145.09	146.43	137.90	132.08	130.38	134.97	132.23	135.31	139.24

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

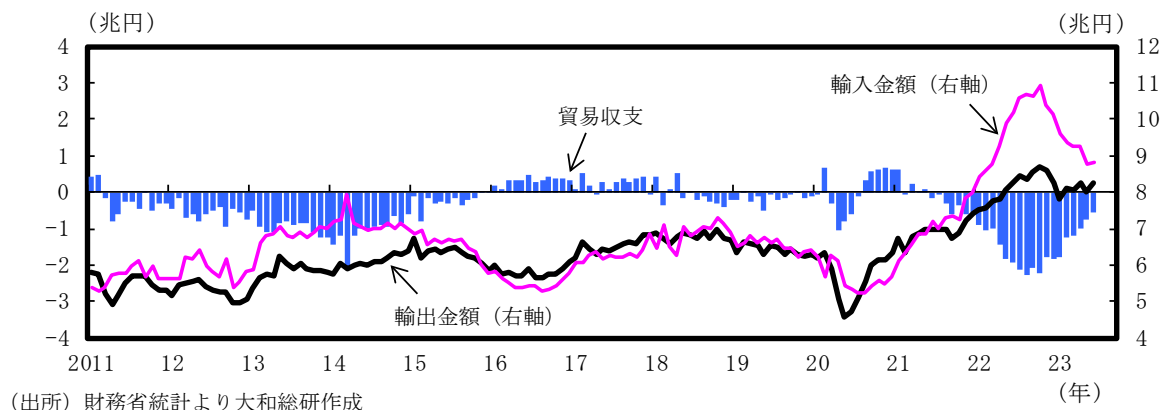
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



【輸出数量】自動車関連財が全体を押し上げ輸出数量は回復基調に

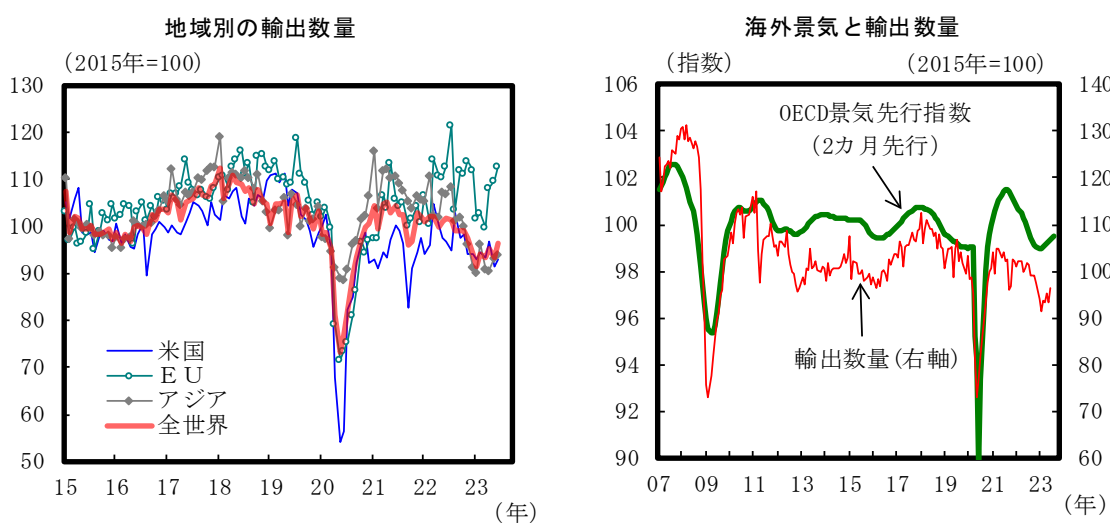
6月の輸出数量は前月比+3.2%と2カ月ぶりに増加した。均して見れば、輸出数量は緩やかな回復基調を辿っている。品目別では、自動車の部分品、バス・トラック、二輪自動車といった自動車関連財のほか、非鉄金属の輸出が好調だった。地域別に見ると、米国向け（同+1.5%）、EU向け（同+2.5%）、アジア向け（同+1.1%）のいずれも増加した。

米国向けは2カ月ぶりに増加した。二輪自動車に加え、自動車の部分品やベアリング、非鉄金属といった中間財が全体を押し上げた。乗用車は均して見れば増加基調にあるが、6月単月では減少した。また、半導体等製造装置の輸出は2カ月連続で低水準となった。米国政府はCHIPSプラス法によって半導体製造施設の拡充などを支援する方針だが、これに伴う半導体製造装置の購入の動きが既に一服した可能性がある。

EU向けは3カ月連続で増加した。バス・トラックや二輪自動車のほか、電算機類の部分品や鉄鋼といった中間財が増加した。電算機類の部分品は2022年4月以降減少傾向にあったが、足元では2カ月連続で高い伸びとなった。鉄鋼輸出は、ロシアへの経済制裁を背景に日本からの代替調達が発生しているとみられ、振れを伴いながらも高水準で推移している。

アジア向けは2カ月連続で増加した。中国向け（前月比+2.2%）を中心に非鉄金属が増加した。他方、6月は振れの大きい船舶が全体を押し上げた側面が強く、これを差し引いて見ればアジア向け輸出の基調は依然として弱い。とりわけ鉄鋼やプラスチック、半導体等製造装置、集積回路（IC）といった主力品目はいずれも減少している。半導体等製造装置については、米国による同装置の輸出規制や2023年7月23日に始まる日本の輸出規制への警戒感もあって、現地企業の購入意欲が減退している可能性がある。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数（CLI）はG20ベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】米欧の政策金利の高止まりが日本の資本財輸出の逆風に

先行きの輸出数量は緩やかな増加基調が続くとみている。輸出数量指数に2カ月ほど先行するOECD景気先行指数（G20ベース、**前掲図表4右**）は足元で底打ち感が強まっており、供給サイドにおいても明るい材料が見られる。半導体不足や新型コロナウイルス感染拡大によるサプライチェーンの混乱といった供給制約が緩和する中、ペントアップ（繰越）需要が蓄積する自動車やその関連財が輸出をけん引しよう。ただし、米欧では政策金利が高水準にあり、資本財輸出などは軟調に推移する可能性が高い。

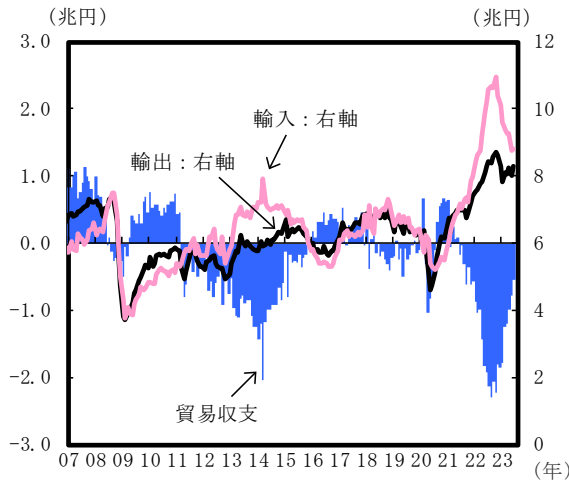
輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは横ばいで推移するとみている。引き続き自動車輸出の増加が見込まれる一方、米国内では利下げへの転換が後ずれする可能性が高まっており、その他の財輸出の増加には期待しにくい。米国では個人消費の底堅さもあってインフレ関連指標の減速ペースが緩やかであり、先行きも政策金利が高水準で推移する公算が大きい。実質金利の上昇、銀行の貸出態度の厳格化、企業マインドの悪化が進む中、資本財を中心に日本からの輸出が下振れする可能性がある。

欧州向けは均して見れば横ばいで推移するとみている。ユーロ圏では景況感指数（鉱工業）や鉱工業生産指数が低下基調を辿っており、製造業の業況が冴えない。欧州向けの中でも特に輸出金額が大きい一般機械などには悪影響が及ぶだろう。他方、米国向けと同様に自動車やその部材が輸出全体を下支えするとみている。また、欧州がロシア以外の国から代替調達を進めている鉄鋼製品についても引き続き高水準の輸出が見込まれる。

中国向けは緩やかな回復が続くとみている。中国の4-6月期の実質GDPは前期比+0.8%と、景気回復が継続している。とはいえ1-3月期（同+2.2%）からは減速しており、日本からの輸出の急回復は見込みにくい状況だ。先行きは、2023年の成長率5%台を目指す中国政府がどのような景気対策を行うかに大きく左右されよう。また、中国政府は8月からガリウムやゲルマニウム（化合物含む）の輸出規制を実施する。日本などによる半導体関連財の輸出規制への対抗措置とみられ、対立の激化や報復合戦への発展によって中国との貿易が縮小するリスクには注意が必要だ。

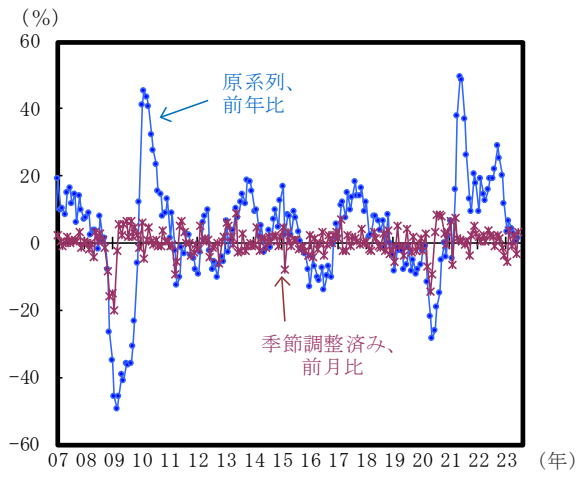
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

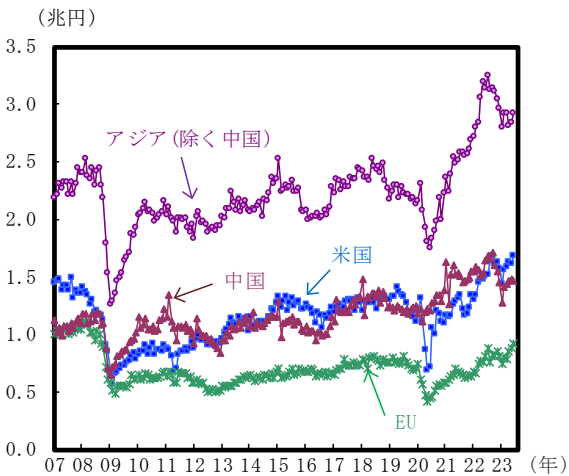


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

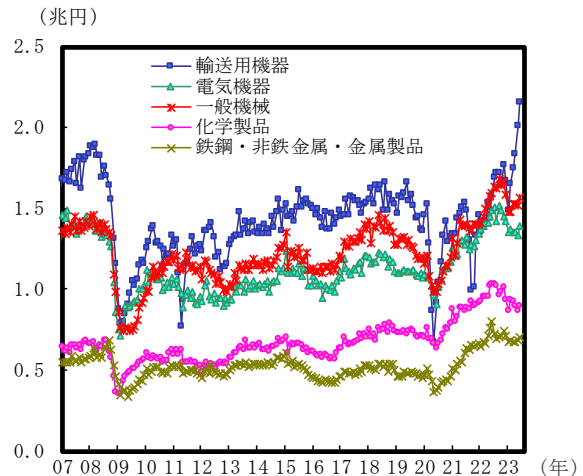


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

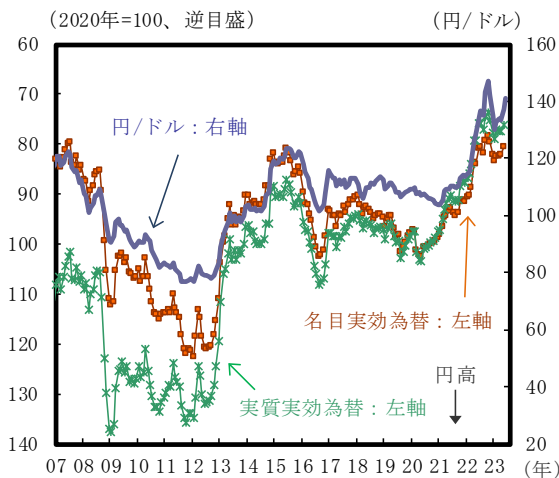


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

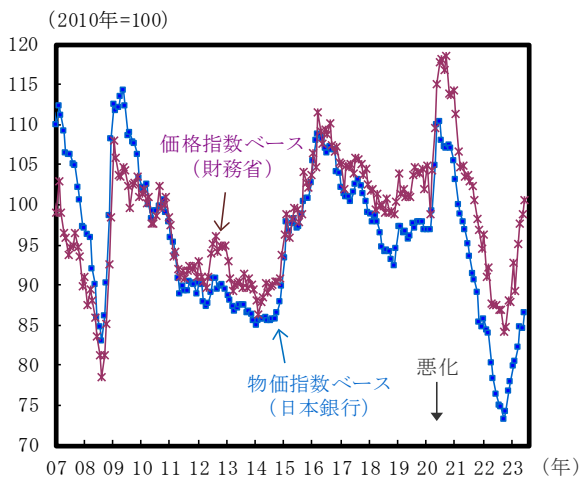


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	3.5	6.5	4.3	2.6	0.6	1.5	100.0	1.5
食料品	▲5.5	18.5	13.1	7.1	6.5	2.2	1.2	0.0
原料品	11.4	1.7	▲0.8	▲11.0	▲16.0	▲8.2	1.5	▲0.1
鉱物性燃料	17.7	16.9	13.1	▲25.7	▲48.0	▲55.1	1.1	▲1.4
化学製品	▲6.6	▲2.1	▲3.2	▲6.3	▲15.0	▲13.0	10.5	▲1.6
原料別製品	4.6	3.0	1.1	▲4.3	▲7.5	▲10.2	11.6	▲1.3
鉄鋼	5.5	3.0	▲0.7	▲3.0	▲10.2	▲16.8	4.6	▲0.9
非鉄金属	0.4	4.5	10.9	▲9.0	▲8.4	▲8.0	2.4	▲0.2
金属製品	3.1	▲4.0	▲7.7	▲7.0	▲6.0	▲3.0	1.3	▲0.0
一般機械	4.5	1.4	1.7	▲0.1	▲3.6	▲1.5	18.4	▲0.3
電気機器	▲1.5	▲1.7	▲4.5	▲4.3	▲8.0	▲6.3	16.1	▲1.1
半導体等電子部品	0.4	0.5	3.2	▲6.5	▲12.1	▲10.7	5.3	▲0.6
I C	5.3	5.1	10.3	▲2.5	▲10.4	▲8.1	3.8	▲0.3
映像機器	▲23.4	▲14.8	▲17.8	▲12.4	4.3			
映像記録・再生機器	▲8.9	2.0	4.4	12.6	18.7	▲14.2	0.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲0.5	4.3	▲15.9	▲4.8	▲13.9	10.2	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲2.1	▲2.9	▲8.4	▲7.2	▲9.5	▲9.3	2.1	▲0.2
輸送用機器	9.2	16.1	23.0	19.8	38.9	38.0	24.5	6.9
自動車	14.9	23.5	38.3	29.2	66.3	49.7	17.9	6.0
自動車の部分品	▲13.7	▲11.0	▲13.6	▲7.4	▲1.7	5.3	3.8	0.2
その他	6.8	20.0	2.5	10.3	8.5	3.1	15.0	0.5
科学光学機器	▲2.2	6.8	7.4	12.7	8.3	▲5.6	2.4	▲0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	10.4	14.9	9.4	10.5	9.4	11.7	100.0	11.7
食料品	2.4	6.9	▲16.4	▲7.3	▲11.3	▲10.5	0.9	▲0.1
原料品	▲29.5	9.4	▲26.6	▲41.6	▲64.8	▲53.4	0.4	▲0.5
鉱物性燃料	▲26.0	▲5.6	112.3	▲50.2	▲74.0	▲58.0	0.6	▲1.0
化学製品	▲2.2	15.2	4.5	4.1	▲22.6	▲14.6	7.2	▲1.4
原料別製品	37.8	24.1	6.5	0.8	▲6.3	▲9.4	6.6	▲0.8
鉄鋼	57.3	51.6	23.2	8.9	11.4	▲30.9	1.5	▲0.7
非鉄金属	60.0	37.5	43.7	17.5	▲29.9	▲2.2	0.8	▲0.0
金属製品	26.2	1.2	▲22.0	▲7.0	▲11.9	▲1.9	1.2	▲0.0
一般機械	14.0	11.8	0.9	8.3	▲3.2	3.3	23.9	0.8
電気機器	16.1	6.1	▲5.6	10.9	2.6	2.0	12.3	0.3
半導体等電子部品	5.9	▲11.5	2.0	3.9	▲8.2	▲2.5	1.2	▲0.0
I C	8.7	▲19.0	4.9	33.5	▲2.9	18.2	0.6	0.1
映像機器	▲14.7	▲2.4	▲8.7	▲6.9	18.5			
映像記録・再生機器	▲20.3	▲19.0	▲17.8	▲5.3	3.7	▲19.5	0.5	▲0.1
音響・映像機器の部分品	13.1	24.6	▲4.3	46.3	27.9	68.0	0.2	0.1
電気回路等の機器	12.2	17.9	4.0	6.7	▲1.0	4.5	1.3	0.1
輸送用機器	1.5	14.1	37.2	17.7	61.4	44.4	36.9	12.7
自動車	▲1.7	13.7	59.9	23.1	81.9	56.5	30.1	12.1
自動車の部分品	5.7	4.7	▲24.5	▲0.3	▲1.4	0.4	5.1	0.0
その他	21.2	33.4	▲5.3	16.2	17.1	14.8	11.2	1.6
科学光学機器	19.6	31.0	20.5	6.7	9.2	6.1	2.5	0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.5	18.6	5.1	11.8	16.6	15.0	100.0	15.0
食料品	▲11.6	54.2	▲13.6	15.1	6.4	8.3	0.6	0.1
原料品	7.2	4.8	▲19.3	1.4	2.7	0.6	0.8	0.0
鉱物性燃料	▲63.1	▲16.2	▲85.3	▲89.8	16.6	▲3.8	0.1	▲0.0
化学製品	3.3	11.0	▲10.2	▲12.6	▲10.2	▲8.4	10.3	▲1.1
原料別製品	22.9	17.9	10.2	3.2	7.4	8.5	8.8	0.8
鉄鋼	29.7	23.3	39.3	▲19.2	3.6	15.9	3.5	0.5
非鉄金属	81.1	77.3	30.0	55.9	44.6	28.5	1.1	0.3
金属製品	14.6	5.8	▲2.1	0.1	10.9	8.4	1.3	0.1
一般機械	17.9	11.1	▲4.2	▲3.5	3.9	9.2	21.2	2.0
電気機器	1.8	6.4	▲1.5	9.6	▲1.3	1.2	14.9	0.2
半導体等電子部品	▲0.3	4.8	8.5	13.8	▲1.8	2.0	2.1	0.0
I C	▲2.3	▲9.4	▲3.8	6.4	▲14.1	▲12.2	0.8	▲0.1
映像機器	8.0	9.8	11.4	▲10.0	3.5			
映像記録・再生機器	▲1.1	10.7	12.0	4.4	10.1	▲31.3	0.7	▲0.3
音響・映像機器の部分品	▲40.1	▲28.6	▲32.0	▲24.0	▲45.7	▲27.1	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	11.8	12.3	7.0	14.1	6.7	5.0	1.5	0.1
輸送用機器	26.6	59.2	27.0	58.5	76.2	63.4	29.1	13.0
自動車	51.2	122.0	79.3	94.8	141.6	78.8	20.5	10.4
自動車の部分品	▲37.0	▲22.5	▲24.4	▲10.6	1.5	9.0	4.0	0.4
その他	▲11.1	5.5	13.8	12.2	23.8	▲0.2	14.1	▲0.0
科学光学機器	11.9	12.2	8.0	20.5	4.6	▲9.3	3.6	▲0.4

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.0	▲1.3	▲1.1	▲6.3	▲8.1	▲8.4	100.0	▲8.4
食料品	▲8.7	20.4	24.5	9.9	11.0	5.9	1.6	0.1
原料品	15.9	▲0.0	2.3	▲9.3	▲10.7	▲4.8	2.6	▲0.1
鉱物性燃料	35.1	▲6.4	▲7.0	▲37.9	▲27.4	▲32.0	1.4	▲0.6
化学製品	▲10.8	▲7.2	▲4.5	▲6.7	▲13.6	▲12.9	14.1	▲1.9
原料別製品	▲4.3	▲3.4	▲2.7	▲11.6	▲15.0	▲14.5	14.6	▲2.3
鉄鋼	0.4	▲6.3	▲8.8	▲9.3	▲21.4	▲22.4	5.7	▲1.5
非鉄金属	▲11.3	1.0	11.9	▲17.9	▲9.8	▲9.3	4.1	▲0.4
金属製品	▲11.5	▲10.7	▲10.4	▲15.1	▲13.3	▲14.5	1.3	▲0.2
一般機械	▲3.2	▲4.3	3.2	▲4.0	▲5.4	▲8.7	17.6	▲1.5
電気機器	▲6.8	▲5.4	▲6.1	▲11.3	▲12.8	▲10.5	21.4	▲2.3
半導体等電子部品	▲0.2	1.0	2.8	▲8.3	▲13.1	▲11.3	9.2	▲1.1
I C	5.4	6.3	10.8	▲3.9	▲10.7	▲8.7	7.0	▲0.6
映像機器	▲34.6	▲27.7	▲29.5	▲17.0	▲1.0			
映像記録・再生機器	▲12.7	15.7	15.2	32.9	33.5	▲1.3	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲10.3	▲1.2	▲18.1	▲16.9	▲19.4	▲3.0	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲7.1	▲7.4	▲11.2	▲12.9	▲14.1	▲13.9	3.0	▲0.4
輸送用機器	▲10.8	▲1.0	▲5.0	▲8.0	14.3	7.9	8.3	0.6
自動車	▲7.0	2.0	▲7.4	▲0.2	39.1	9.2	4.4	0.3
自動車の部分品	▲19.3	▲21.2	▲8.6	▲18.2	▲9.5	▲4.1	2.8	▲0.1
その他	0.9	14.8	5.5	6.1	0.2	▲1.5	18.4	▲0.3
科学光学機器	▲13.9	▲2.5	2.8	12.3	9.0	▲11.7	2.6	▲0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲17.1	▲10.9	▲7.7	▲2.9	▲3.4	▲11.0	100.0	▲11.0
食料品	3.4	33.9	21.3	7.6	21.2	4.8	1.4	0.1
原料品	1.8	0.4	13.4	9.8	0.6	▲9.3	2.8	▲0.3
鉱物性燃料	138.2	285.0	44.3	▲25.8	17.8	▲58.2	0.7	▲0.8
化学製品	▲11.0	▲8.6	▲1.8	▲1.6	▲5.7	▲8.8	17.0	▲1.5
原料別製品	▲17.5	▲16.2	▲10.2	▲18.2	▲18.9	▲19.6	11.2	▲2.4
鉄鋼	▲12.3	▲28.9	▲37.8	▲27.2	▲26.5	▲30.2	2.7	▲1.0
非鉄金属	▲25.3	▲8.2	24.4	▲18.9	▲22.5	▲20.1	3.7	▲0.8
金属製品	▲25.0	▲16.8	▲17.8	▲13.5	▲13.7	▲19.3	1.4	▲0.3
一般機械	▲16.2	▲11.8	2.0	9.4	▲3.0	1.2	24.5	0.3
電気機器	▲16.0	▲12.1	▲11.3	▲10.8	▲3.2	▲11.8	22.3	▲2.6
半導体等電子部品	▲2.5	1.6	14.9	2.5	14.3	▲12.8	7.8	▲1.0
I C	7.9	9.5	33.3	12.5	28.4	▲10.9	5.7	▲0.6
映像機器	▲41.0	▲38.4	▲46.9	▲23.9	▲17.5			
映像記録・再生機器	▲33.6	20.1	15.5	70.3	36.4	▲4.7	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲34.1	▲23.1	▲37.9	▲39.5	▲36.8	▲14.4	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲15.1	▲15.9	▲20.1	▲18.6	▲11.7	▲14.9	3.3	▲0.5
輸送用機器	▲56.4	▲43.5	▲48.4	▲28.9	10.3	▲10.1	7.7	▲0.8
自動車	▲52.1	▲34.2	▲62.7	▲27.3	50.5	▲7.6	4.9	▲0.4
自動車の部分品	▲64.5	▲58.1	▲31.2	▲34.5	▲28.1	▲16.6	2.6	▲0.5
その他	▲8.6	7.8	▲6.2	26.2	4.9	▲20.5	12.6	▲2.9
科学光学機器	▲19.0	▲3.0	▲2.3	9.3	▲1.2	▲9.8	3.2	▲0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成